

生涯教育研修会報告書

病理・細胞検査研究班

学発番号 11-062

平成23年12月24日

報告者

所属 宇治徳洲会病院

氏名 江口 光徳

連絡先 0774-20-1111 (代)

会員番号 264509-0255

行事名：病理検査分野 講演会

日時：平成22年12月23日 土曜日 13:30～17:00

会場：京都府立医科大学 基礎医学学舎1階 第1講義室

主題1：病理組織からの遺伝子検査

講師所属：京都大学医学部附属病院

講師名：庄司 月美技師

主題2：大腸がん KRAS 遺伝子検査の現状

講師所属：(株) ファルコバイオシステムズ バイオ事業推進部 遺伝子検査課

講師名：福井 崇史技師

主題3：胃がん HER2 適応について

講師所属：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 TD 事業部 営業部

講師名：小沢 広樹氏

主題4：分子標的薬とがん遺伝子変異検査

講師所属：アークレイマーケティング株式会社 事業推進部

講師名：加藤 潤一氏

分類：専門 検体検査-20点

全体参加人数：41人（京臨技のみ4人、賛助会員8人含む）

以下、講演内容など

今回の講演会は病理検査に関係が深い遺伝子検査に関する内容であった。近年分子標的治療が広く行われるようになってきたが、この治療をするためには遺伝子検査がほぼ必須となってきている。この遺伝子検査には病理検査材料や細胞診材料を使用されることが多くあり、病理検査に携わる技師も遺伝子検査がどのように行われているか知っておくことは大切であると考えられる。今回4人の演者よりがんに関わる遺伝子検査について、基本

から分かりやすく講演して頂いた。ホルマリン固定による遺伝子検査に対する影響や、遺伝子検査に必要な切片の暑さ、量など検体を出す側にとって重要な知識も得ることができた。今後の仕事に非常に役立つ講演会であったと思う。